

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 2 月 4 日 (2021.2.4)

【公表番号】特表 2020-506557 (P2020-506557A)
 【公表日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-008
 【出願番号】特願 2019-556786 (P2019-556786)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 51/48 (2006.01)

H 0 1 L 51/46 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 31/04 1 8 2 Z

H 0 1 L 31/04 1 5 4 Z

【誤訳訂正書】
 【提出日】令和 2 年 12 月 15 日 (2020.12.15)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】特許請求の範囲
 【訂正対象項目名】全文
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ペロブスカイト構造及び化学式 ADB_3 (式中、A は、カチオン $CH_3NH_3^+$ 、 $(NH_2)_2CH^+$ 、 $C(NH_2)_3^+$ 、 Cs^+ 及びその混合物から選択され、B は、アニオン Cl^- 、 Br^- 、 I^- またはその混合物から選択され、D は、元素 Sn、Pb、Bi またはその混合物から選択される) を有する光吸収材料を生成するための方法が、組成物 $AB - nB_2$ と成分 D とを混合させることであって、D を含有する成分は、元素 Sn、Pb、Bi 及び / またはそれらの塩、合金から選択され、B は、 Cl_2 、 Br_2 、 I_2 及びその混合物から選択され、組成物 $AB - nB_2$ と成分 D との混合のために、組成物 $AB - nI_2$ ($n \geq 1$) を有する反応体を成分 D と接触させ、この反応体の過剰分が除去される、方法。

【請求項 2】

組成物 $AB - nB_2$ と D を含有する試薬との混合が、成分 A 及び B を含有する混合物への D の溶解と、その結果の熱処理によって行なわれる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

組成物 $AB - nB_2$ と D を含有する試薬との混合が、成分 A 及び B を含有する混合物への D の溶解と、その結果の減圧によって行なわれる、請求項 1 または請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

組成物 $AB - nB_2$ と試薬 D との混合が、成分 A、B 及び D を含有する混合物への D の溶解と、その結果の熱処理によって行なわれる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

組成物 $AB - nB_2$ と試薬 D との混合が、成分 A、B 及び D を含有する混合物への D の溶解と、その結果の減圧によって行なわれる、請求項 1 または請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

試薬 $AB - nB_2$ と D を含有する試薬との混合が、D を含有する試薬上への $AB - nB_2$ の積層によって行なわれる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

$AB - nB_2$ と D を含有する試薬との積層が、スピンコーティング、スプレーコーティング、浸漬、ブレードコーティング、ドロップキャスト、ロールツール積層、スクリーン印刷のいずれかの方法またはその組合せによって行なうことができる、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

組成物 $AB - nB_2$ からの成分 B の過剰分が、溶媒での洗浄、基板の熱処理、減圧下での除去、吸着剤を使用した除去のいずれかの方法またはその組合せによって除去される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

A 及び B を含む成分の混合に基づく有機 - 無機ペロブスカイトを得るための液体前駆体 $AB - nB_2$ ならびにそれらと Cs^+ イオンとの混合物の調製方法であって、A は、カチオン $CH_3NH_3^+$ 、 $(NH_2)_2CH^+$ 、 $C(NH_2)_3^+$ またはその混合物の少なくとも 1 種であり、B は、アニオン Cl^- 、 Br^- 、 I^- またはその混合物の少なくとも 1 種であり、A と B のモル比が、 $0 \sim 150$ の温度範囲内で $1 : 1 \sim 1 : 5$ の範囲内で変化し、 $n = 1$ である、方法。

【請求項 10】

有機 - 無機ペロブスカイトを得るための液体前駆体 $AB - nB_2$ ならびにそれらと Cs^+ イオンとの混合物であって、 $n = 1$ であり、A は、カチオン $CH_3NH_3^+$ 、 $(NH_2)_2CH^+$ 、 $C(NH_2)_3^+$ 、またはその混合物の少なくとも 1 種であり、B は、アニオン Cl^- 、 Br^- 、 I^- またはその混合物の少なくとも 1 種であり、ならびに、A と B のモル比が $1 : 1 \sim 1 : 5$ の範囲内で変化する、液体前駆体及び混合物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0026

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0026】

その上、試薬 $AB - nB_2$ 、及び D を含有する試薬の混合は、スピンコーティング、スプレーコーティング、浸漬、ブレードコーティング、ドロップキャスト、ロールツール積層、スクリーン印刷の方法のいずれかまたはその組合せによって行なうことができ、一方、組成物 $AB - nB_2$ からの成分 B の過剰分は、溶媒での洗浄、基板の熱処理、減圧下での除去、吸着剤を使用した除去のいずれかの方法またはその組合せによって除去される。